

# 社会福祉法人湖北報恩会 長浜学舎

日時：2014年12月3日（水）13:30-17:00

2014年12月11日（木）9:00-16:00

場所：長浜市新庄中町207

開園して3年目の長浜学舎。開園当初は、アリもダンゴムシもいなかったそうですが、今ではカラスがスイカを狙ったり、子どもたちがザリガニを池に入れたりして、少しずつ自然が増えてきているのを実感しているそうです。今回は、近隣の神社をフィールドにプログラムを実践しました。

（対象：5歳児 計35名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

## 木や葉っぱの遊びを考えて、やってみよう！

ドングリ、枝、葉っぱで、ハッピーパーのジャンケンをした後、自然を使ってどんな遊びができるか、みんなで考えました。

- ①葉っぱを投げて、上手にキャッチできるかな？
- ②枝の分かれ目にドングリをうまく乗せて、ドングリ運びリレー大会
- ③2人組になって、相手の持っているドングリの数を当てる、いくつ持っているかな？あてっこゲーム
- ④ドングリを投げて遠くの木に当てる、ストライクアウトゲーム



2人組で葉っぱを投げて、相手がキャッチ！やったー



ドングリを載せて、運び中。とっても集中して、ドキドキハラハラリレーです。



## おしゃれ服を作って一緒に遊ぼう！

当日は、冷たい雨が降る冬の日。カッパを着て、神社へ出かけました。雨に濡れて寒そうな木を子ども達が選んで、落ち葉の洋服を作ってあげました。濡れた落ち葉はビニールシートに上手にひつつくことも知りながら、イチヨウやアラカシ、ケヤキの葉っぱなどを貼りつけました。洋服が出来たら、その木の前で「かごめかごめ」をして、遊びました。「木がみんなに服を作って、遊んでくれたので、喜んでいるなあ」と思えるプログラムでした。



集めた落ち葉を白いビニールシートに貼りつけたよ。黄色いイチヨウの葉っぱ、茶色い葉っぱ、形も色もいろいろだよ。

みんなが作った洋服を木に着せてあげるよ。



洋服を着せてあげた木を囲んで「かもめかもめ」をしたよ。



「後ろの正面だーれ？」当たった人と交代するよ。



## ドングリパワーで妖怪をやっつけよう!!

神社には、途中で折れたり切れてしまった木がありました。妖怪が切ってしまうと、さらにドングリの木も狙っているらしいとのこと。みんなでドングリを拾って修行にチャレンジして、妖怪ウォッチでドングリパワーを身に着けよう!

修行① ドングリを5つ拾って、木に投げて当てよう

修行② 葉っぱにドングリを乗せて、落とさず歩こう

修行③ ドングリにぴったりの帽子を探そう

木が切れて、ボロボロになっているぞ。  
妖怪の仕業だ!



ドングリ投げて木に当てよう! 5つの内、3つ当たったらOK!



ドングリを葉っぱに乗せて運ぼう! 落とさないでそーとそーと。



修行をしたみんなのドングリパワーを送ろう! 妖怪は音を立てて逃げたぞ。

### プログラムを終えてのふりかえりから

#### ●指導案を考えることで・・・

- ・普段の保育では、こんなにじっくり保育プログラムを考えることがなかった。次の実践に向けて様々な課題や提案を考えることができた。
- ・一から指導案を立てて作る経験が初めてであった。子どもがどのような反応を示すか緊張した。

#### ●雨の日のプログラムで・・・

- ・これまでの保育では、雨の日に出かけることがなかったので、雨の対応で多くのことを考えることができ良い経験であった。
- ・これまで雨であると憂鬱になっていたが、今回の経験で雨でも出かけるのも楽しいと思えるようになった。
- ・学ぶことが多く、雨で良かったと思う。

#### ●自然をふれて遊ぶことで・・・

- ・自然の名前を知らなくても、感じることは多く、自然が大好きになった。
- ・久しぶりに子どもの頃自然で遊んでいた経験を思い出し、心から楽しかった。こんなにドングリや木の枝で遊べることを知った。自然物と関わることで子ども達が、考えたり気づいたりすることを思った。